

(前頁より続く)

H.13年4月 区会副会長就任、区会長の区会運営補佐

H.14年4月 区会長就任、ボランティア先開拓、ボランティア実践

H.16年4月 区会副会長就任、活動先開拓とボランティア活動実践(以降H20年度末まで区会運営とボランティア実践を継続)

H.21年4月以降区会副会長退任、引き続きボランティア活動継続中。

推薦理由; ボランティア訪問実績は上記3ヶ所のみであるが、KSC卒業後9年間の長きに亘り区会会員にボランティア活動への関心を高め、区会を取りまとめ活性化に努めた功績は大きく、後輩にとり見習うべきもの多大である。

表彰優秀グループの活動紹介

須磨海岸清掃グループ(代表 梅谷正芳)

推薦者 須磨区会長 細野恵久

活動内容; 阪神間を代表する海水浴場の須磨海岸にはシーズン中百万人を超える人出があり、ゴミ対策は行政にとって切実な問題である。本グループは、景観上重要でありながら手が行き届きにくい国民宿舎シーパル須磨付近の砂浜を中心に、ゴミを取り除く活動をH.11年以来続けている。

主な活動場所; シーパル須磨赤燈台から東側約300m四方、監視員詰所までの一帯。

活動のあゆみ;

H.11年は“わ”設立3年目、地域密着型への組織改編1年目に当たる。この年須磨地域代表に就いた梅谷正芳氏が地域貢献を呼び掛けてこの活動がスタートした。梅谷氏はそれ以来今日までリーダーとして関係先との調整やメンバーへのきめ細かい心配りなど活動の定着に尽くされた。メンバーの中には活動スタート時からの参加者もいるが、年々参加と脱会が繰り返され、人数は必ずしも安定していない。

H.11年~21年度の11年間 合計活動日

数 136日、(年平均12日)

同 合計延べ活動人員1159名(年平均106名)

推薦理由; 行政(市みなと総局みなと振興部)や周辺施設の理解と協力を得ていることは地域活動のモデルとして推薦に値する。活動時期は最も暑い時期と重なっており、高齢者にとって決して楽でない。メンバーの大半は須磨海岸から離れた北須磨地区居住者で往復に要する時間と経費負担も少なくない。こうした困難な条件がありながらグループ全員が強い使命感と連帯感をもって毎シーズン乗り切っている。マスコミもこの活動を好意的に紹介している。(H.11年8月3日神戸新聞記事掲載)

有馬観光ガイドボランティアG(代表 横山忠明) 推薦者 大坪 英二

活動内容; H.11年から11年間に亘り、有馬温泉総合観光案内所前(H.17年までは「太閤の湯殿館」前)でグループメンバーが当番で観光客対象に温泉内観光名所の案内ガイドを実施している。H.19年から予め申し出のあった団体客に対して歩いて観光要所を回り案内ガイドする「まち歩きガイド」も併せ実施している。

活動のあゆみ;

H.11年11月 「太閤の湯殿館」開設時神戸市観光交流課が震災復興の目玉として旅行者向けに観光ガイドを配備して温泉街活性化を図るためにグループわにガイドの派遣依頼があり、活動がスタートした。

H.16年6月 有馬温泉総合案内所前でのガイド(当番制)に変更

H.16年4月 「歴史と泉源」に関するガイド用教材をまとめ、人材育成を図る。(H.19年4月まで)

H.19年4月 有馬観光まち歩きガイド実施(H.21年度総合観光案内所前ガイド年間実績 対象者合計22,500名)(H.21年度有馬観光まち歩きガイド年間実績 対象者合計 1,800名)

(次頁へ続く)